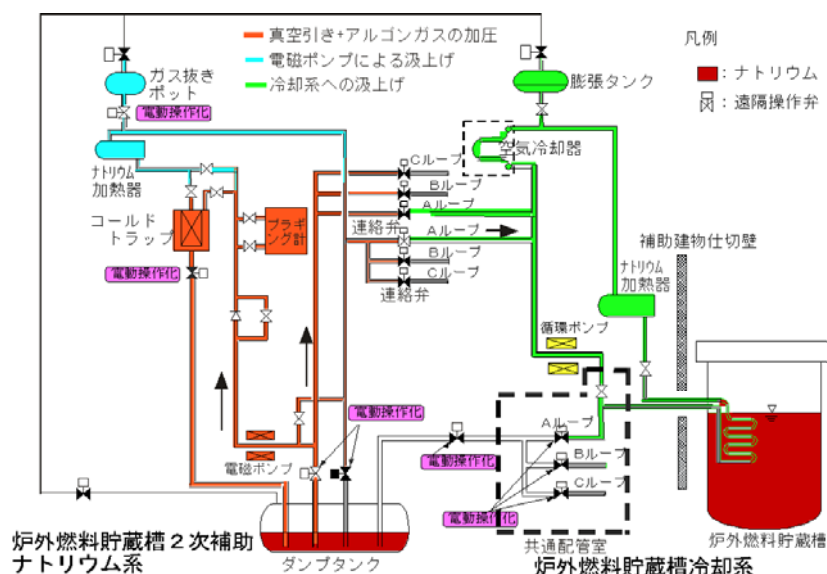


試験件名	炉外燃料貯蔵設備関連試験 (EVST 冷却系及び 2 次補助ナトリウム系ナトリウム漏えい対策確認試験)	当該試験の速報回数	1
試験目的	炉外燃料貯蔵槽 (EVST) 冷却系あるいは EVST 2 次補助ナトリウム系のナトリウム漏えい時に、早期に系統内のナトリウムをドレンし、漏えいの抑制を図るため、ドレンに必要な弁を電動操作化するとともに、ドレン配管の予熱ヒータの運用変更等を行った。EVST 冷却系及び EVST 2 次補助ナトリウム系のナトリウム漏えい対策確認試験では、これら改造設備の機能・性能の確認を行う。		
試験範囲	EVST 冷却系、同 2 次補助ナトリウム系及び同 2 次アルゴンガス系		
主要な試験項目	試験内容	結果	実施時期
1. ナトリウム充填試験	通常時の運転手順書に従い、EVST 冷却系及び EVST 2 次補助ナトリウム系にナトリウム充填が行えることを確認する。	手順書通りの操作でナトリウム充填が行えることを確認した	平成 19 年 6 月 25 日試験完了
2. 緊急ドレン模擬試験	一括ドレンスイッチによる遠隔操作にて EVST 冷却系 A, B, C のナトリウムが目標の時間内にドレンできることを確認する。また、このときドレン弁開でインタロックにより循環ポンプが停止することを確認する。		平成 19 年 6 月 26 日～同 27 日試験完了



EVST 2 次補助ナトリウム系及び冷却系への充填範囲

(ナトリウム充填試験)

- ・ EVST 冷却系のナトリウム充填の操作は以下の手順とした。
- ① 2 次補助ナトリウム系の真空引き及びアルゴンガスによるダンプタンクの加圧
- ② 電磁ポンプによる汲み上げにより、2 次補助ナトリウム系に充填を行う。
- ③ 2 次補助ナトリウム系と EVST 冷却系 A の連絡弁を開け、2 次補助ナトリウム系の電磁ポンプで A 系に汲上げ充填する。
- ④ 同じ手順で順次 B 系、C 系に 2 次補助ナトリウム系からナトリウムを汲上げ充填する。
- ・ 内容積は、冷却系各約 1.3m³、2 次補助ナトリウム系は約 1.2m³である。
- ・ 約 200℃のナトリウム充填後、機器や配管等に異常は見られなかった。



系統構成確認風景



試験風景